

平成29年度第1回幕別町学校給食センター運営委員会 会議録

日 時 平成29年 8月25日（金） 午前11時～午前11時50分
場 所 幕別町幕別学校給食センター研修室
出席委員 委員長 宮村栄治、
森浩嘉、早川るみ、久保輝美、塚本逸彦、矢崎圭子
千葉美由紀、平松一海、阿部美由紀
欠席委員 猪股宏亮、大野忍、山本美貴、谷内里美
教育委員会 岡田教育部長
宮田学校給食センター所長、平井業務係長、楠業務係

[欠席報告]

宮田所長 皆さんこんにちは、本日はお忙しい中、そして、暑い中お集まり頂きありがとうございます。糠内小学校猪股校長、札内北小学校の大野教諭、山本委員、谷内委員から欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

[委嘱状交付]

宮田所長 開会に先立ちまして、この度学校のPTAの役員改選によりまして、委員1名の欠員が生じたので、新たに任命いたします1名の方に、委嘱状を交付いたします。

これよりお名前をお呼びいたしますので、その場にご起立願います。

「矢崎圭子様」

（部長より委嘱状交付）

[開会]

宮村委員長 ただ今から、平成29年度第1回幕別町学校給食センター運営委員会を開催いたします。

お配りの会議次第に基づきまして、会議を進めてまいります。

次第の1番目、挨拶です。岡田教育部長からご挨拶申し上げます。

[あいさつ]

岡田部長 皆さんこんにちは。

本来でありますと、田村教育長からご挨拶申しあげるところであります。他の公務のためどうしても出席することができませんでしたので、私からご挨拶させていただきます。

皆様方には、日ごろから本町の教育行政の推進に当たり、それぞれのお立場やそれぞれの地域におきましてご尽力をいただいておりますことに対しまして、お礼を申し上げたいと思います。

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に寄与するものとして、適切な栄養の摂取による健康の保持増進はもとより、「食」を通じて、マナーや文化など、多くの事がらを学ぶことが出来る機会でもあります。

さらに、幕別町では地場産食材の活用により幕別町への愛着と地域理解にも努めるな

ど、給食は学校生活の中において重要な役割を担っております。

本日の運営委員会では、学校給食センターの運営状況や学校給食費につきまして、後ほど担当からご説明いたしますが、委員の皆様におかれましては、日頃のお気づきの点など、忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げます。

最後になりますが、本日ご参会の皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

本日は、よろしく願いいたします。

[委員及び職員紹介]

宮村委員長 次に次第の2番目の委員及び職員の紹介をいたします。

宮田所長 先ほど委嘱状の交付もありました委員の皆さまと、平成29年4月1日付け人事異動により担当職員の変更がありましたので、ご紹介をいたします。

委員のみなさまは、私からお名前をお呼びいたしますので、その場でお立ちいただき、一言お願いいたします。

(名簿順に自己紹介)

宮田所長 続いて事務局の紹介をいたします。

(出席職員を紹介)

[幕別町学校給食センター運営委員の役割について]

宮村委員長 次に、次第の3番目の幕別町学校給食センター運営委員の役割について事務局から説明をお願いします。

宮田所長 幕別町学校給食センター運営委員の役割についてあります。

議案書の1ページをご覧ください。

こちらにつきましては、昨年度の運営委員会でもご説明いたしましたが、あらためての説明となります、

幕別町学校給食センター条例になりますが、第4条になりますが、運営委員会として、第4条第1項では、給食センターの適正かつ円滑な運営を図るため、幕別町学校給食センター運営委員会を置くというものであります。

第2項では、運営委員会は、教育委員会の諮問に応じ、給食センターの運営に関する重要事項について審議し、調査研究するものとするというものでありまして、今回の運営委員会では教育委員会からの諮問事項はありませんが、例えば給食費の改定の必要が生じた場合等については、教育委員会からの諮問に応じ、この運営委員会で審議、調査、研究を行うものであります。

第3項では、運営委員会の委員は15人以内とし、教育委員会が委嘱するというものであります。この第3項に規定に基づきまして、こちらにいらっしゃる方々に委嘱状を交付しているものであります。

委員の構成としましては、議案の3ページをご覧ください。

こちらにつきましては、幕別町学校給食センター条例施行規則第7条に運営委員会の委員は、次の各号に掲げる者の内から教育委員会が委嘱することとなっており、第1号として学校代表者、第2号として父母代表者、第3号として教育委員会が必要と認めた者、第4号として公募による者と規定しているものであり、現委員の構成としては、第1号の学校代表者5人、第2号の父母代表者5人、公募3人の計13人で構成されてい

るものであります。

なお、条例上 15 名以内となっているところ、現委員が 13 人となっているのは、公募枠については、幕別町まちづくり町民参加条例に基づく教育委員会規則により、学校給食センター運営委員の公募枠が 5 名であります。応募が 3 名のため、定員より 2 名少ない、13 人の運営委員会委員となっているものであります。

第 2 項では、委員の任期は、2 年とし欠員が生じた場合の補欠委員は、前任者の残任期間すると規定されているものがあります。

第 8 条では、委員長及び副委員長について規定しており、第 1 項では、運営委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選、関係者の中から互いに選挙して選ぶこと、により選出する。となっております。この規定から昨年度、宮村委員長、猪俣副委員長が決定したものであります。

第 2 項では、委員長及び副委員長の任期は 2 年とし、欠員が生じた場合の後任者の任期は前任者の残任期間とするものであります。

第 3 項では、委員長は委員会を代表し委員会の事務を総理する、第 4 項では副委員長は委員長を補佐し委員長に事故あるときはその職務を代理すると、委員等及び副委員長の職務について規定しているものであります。

第 9 条では、会議について規定しており、第 1 項では運営委員会の会議は教育長が招集する、第 2 項では運営委員会は委員の過半数が出席しなければ開くことができない、第 3 項では運営委員会の議決は出席委員の過半数で決し可否同数の場合は委員長が決すると、会議について規定しているものであります。

以上で、幕別町学校給食センター運営委員の役割について説明を終わります。

宮村委員長　ただ今、説明が終わりましたが、ご意見ご質問はありませんか。

ご意見、ご質問がないようですので、次に、次第の 4 番目の学校給食センター運営状況について、事務局から説明をお願いします。

[幕別町学校給食センター運営状況について]

宮田所長　次に議案の 4 学校給食センターの運営状況について、ご説明いたします。

議案書の 4 ページをお開きください。(1) 給食センターの概要についてであります。

幕別町には幕別と忠類の 2 つのセンターがございます。資料にはそれぞれの開設年度が書いてありますが、処理能力は幕別が一日 3,000 食、忠類側が一日 300 食ということでございます。

調理内容につきましては、米飯を調理するほかに副食として揚げ物、炒めもの、汁物等を作っているところであり幕別と忠類は同様であります。

調理食数につきましてはそれぞれ平成 29 年度当初として幕別が 2,747 食で昨年度よりも 52 食の減、忠類が 236 食で昨年度よりも 6 食の減となっているものであります。

配送方式の欄ですが、給食の提供方式としては、全国的に見れば各学校に給食調理室があるという自校方式が多いです。

十勝管内でいえば音更町が自校方式で給食を提供していますが、他の町村はセンターで作ったものをトラックなどで運ぶというセンター方式で給食を提供しています。北海道や十勝では圧倒的にセンター方式が多くなっています。

配送につきましては、幕別は配送車 4 台で 4 つのコースを順次振り分けて運んでいるところがございます。忠類につきましては配送校が小中各 1 校と保育所 2 つで合わせて 4 か所でございますので、1 台の配送車で配っています。

職員数の部分でございます。幕別につきましては調理員が 19 名で嘱託 6 名パート 13 名所属していますが、そのうちの 16 人前後で調理にあたっています、忠類につきましてはパートが 5 人いますが、そのうち 1 人が休んで 4 人の調理員で給食を作っているということでもあります。

配送につきましては幕別4名、忠類1名が業務を行っていますが、委託業者に雇用された方が業務を行っています。

主食の献立でございます。主食の区分はご飯か、麺類か、パンということで、幕別は月・水・木がご飯、火曜日に麺類ということで、うどん、ラーメン、パスタ等を提供し、金曜日はパンの日としています。

忠類は、木曜日がパンの日、金曜日がご飯の日で、それ以外は幕別と同様でございます。

お米については、北海道学校給食会から平成29年度は、全量北海道産の「ななつぼし」を提供しており、現在は28年度産を提供しておりますが、11月頃から新米に切り替わる見込みであります。

参考までに、10kg税込み3,067円です。

パンに使用している小麦粉については、北海道学校給食会から基準となる小麦粉を帯広の林製パンで各種パンに加工し納入しているもので、全量十勝産のゆめちからときたほなみという品種をブレンドして使用しております。

また、麺については、幕別学校給食センターでは、釧路市の道東製麺から納入しており、うどん、ラーメンとも十勝産を使用しております。

忠類学校給食センターでは、広尾の山畑商店から納入しており、うどん、ラーメンともに道産4分の3、国内産4分の1ブレンドを使用しております。

また、牛乳については、よつ葉乳業から提供されており、1個当たり42.09円に消費税を掛けまして、45.45円で提供されているものであります。

それから、調理場方式としてドライシステムと書いてありますが、調理場を見て頂ければわかるのですが、昔の給食センターはウェットシステム方式といって床がコンクリートで長靴を履いて作業し清掃はホースで水を流して行うという調理場が多く、幕別、豊頃の間で行っていた時代もそうでしたが、衛生面では問題が多い方式でした。

ドライシステム方式は、床が乾いた状態で作業するというので、衛生面で優れています。作業中は水なども落ちないようにしています。最終的に清掃するとき濡れたモップなどで拭いたりする以外は濡らさないようにしています。

衛生上の問題が起きないように、水はね等による汚染が無いようにするとか、食材等を扱う時には60センチ以上の台の上で作業するとか、汁物等を入れるときに食缶を直接床に置かずに、高い台に置いて入れるというようなことをしています。

次に（2）平成29年度当初の1日当りの給食数についてであります。

先ほども申しましたが、幕別学校給食センターでは、全体では昨年度より52人の減であり、小学校では19人の増ありますが、中学校では33人の減であります、保育所も10人の減、幼稚園が17人の減、高等養護学校が8人の減でありました。

忠類学校給食センターでは、小学校が1人の増、中学校が2人の減、保育所が5人の減でありました。

次に（3）稼働日数及び供給給食数についてであります。

給食センターの稼働日数について、幕別、忠類両センターとも205日から210日前後で推移しているものでありまして、1日平均では、幕別学校給食センターでは、2,437食、忠類学校給食センターでは、229食となっております。

この数字は、先ほどの年度初めの食数より少なくなっていますが、運動会、体育祭、学習発表会、文化祭等により、1日の食数に増減があるため、年度当初の食数より少ない数字となっているものであります。

次に（4）幕別町産農産物の使用状況についてであります。

じゃがいもにつきましては、町内3農協の協力をいただき、通年で幕別町産となっております。

① になりますが、その他主なものについては、ニンジン、たまねぎとなっております。

その他については、例えばごぼう、キャベツ、レタスといったものとなります。

後ほど試食していただきます給食について、ポトフに使用しておりますキャベツは、幕別町産となっております、

次の②産地別農産物の使用量についてであります。

こちらにつきましても、幕別、忠類学校給食センターの合計であります。幕別産が39.6%、十勝産が、11.2%、道内産が14.3%、道外産が34.9%であります。この割合については、幕別、忠類共におおよそ同じ割合となっているものであります。

野菜については、納入業者に対し、出来る限り幕別町産の納入していただくよう、依頼をしているものであります。

しかしながら、季節によりまして、道外産の農産物の使用も3割程度となっているものであります。

次に(5) 学校給食のアレルギー対策についてであります。

①アレルギーを持つ町内の児童生徒数は、平成29年4月現在ではありますが、226人です。この人数につきましては、全てにおいて、アレルギーの食物を取った場合にアナフィラキシーショックを起こすというものではなく、症状の重い子、軽い子の合計となっております。

②のうち牛乳アレルギーのため、代替として豆乳を提供している児童生徒は2人となっております。

③アレルギーを持つ児童生徒の保護者に対して、代替食や除去食の代わりに献立に含まれるアレルゲン物質を事前に学校を通してお知らせしているものであります。

④として、幕別、忠類両学校給食センターとも、アレルギー対応の代替食や除去食の提供は行っておりませんが、このことは、実施にあたり隔離された専用の調理ラインが必要となるため、現在の施設形態では、対応が不可能な状況であります。

⑤として、代替食や除去食の提供は行っておりませんが、カレールーをアレルゲン対応とすることや、肉団子やハンバーグ等、卵や乳を使用しない食材の提供も行っております。

以上で、4幕別町学校給食センターの運営状況についての説明を終わります。

宮村委員長 　ただ今、説明が終わりましたが、ご意見、ご質問はありませんか。

塚本委員 　食品添加物の使用状況については、どのようになっていますか。

宮田所長 　業者から食品成分表をもらい、確認して給食の献立をたてています。また本日のウィナーは無添加の食材を使用しています。

塚本委員 　残食量はどのくらいありますか。

宮田所長 　大体、1割くらいは残っています。特に、和食については残量が多くなっていますが、栄養教諭が工夫して献立をたて、残食量を減らす努力をしているところです。

宮村委員長 　他にご意見、ご質問はありませんか。

(「なし」) の声

宮村委員長 　他にご意見、ご質問がないようですので、次に、次第の5番目の学校給食費について、事務局から説明をお願いします。

[学校給食費について]

宮田所長 次に、5 学校給食費についてであります。

(1) 学校給食費に係る経費負担についてありますが、学校給食は、学校給食法により施設の維持管理費や職員の人件費については、公費で賄い、給食材料費相当を保護者の負担により運営しているものであります。

(2) 学校給食費につきましては、幕別学校給食センターでは、1 食あたり小学校で 242 円、中学校で 292 円、忠類学校給食センターでは、1 食あたり小学校で 245 円、中学校で 292 円でありますが、地場産食材料費として、1 食当り 8 円を町から補助しておりますので、保護者負担では、幕別学校給食センターでは 1 食あたり小学校で 234 円、中学校で 284 円、忠類学校給食センターでは、小学校 237 円、中学校 284 円となります。

(3) 学校給食費の収納状況についてであります。

平成 28 年度では、現年分調定め 137,895,910 円に対して、収納額 134,843,217 円で収納率 97.79%でありました。前年度と比べますと +0.2 ポイントの増となっており、滞納世帯は 74 世帯であります。

過年度分につきましては、調定額 20,037,777 円に対してまして、収納額 2,046,440 円で収納率 10.21%、前年度と比べますと、-1.46 ポイントでした。

徴収方法としましては、例年行っているものでありますが、督促状の送付は各納期で行い、電話催告、滞納世帯への臨戸徴収、税務課と協力して呼び出し相談を実施しております。

宮村委員長 ただ今、説明が終わりましたが、ご意見、ご質問はありませんか。

塚本委員 今後、幕別高校に対しての給食の提供はどう考えていますか。

岡田部長 町ぐるみで支援していきたいが、町長からは、スクールバス、給食等の話が出ています。

塚本委員 できる限り支援してほしいと思います。上士幌町に負けないように。

岡田部長 町長も教育長もできる限り支援したいと考えています。

宮村委員長 他にご意見、ご質問はありませんか。

(「なし」の声)

宮村委員長 他にご意見、ご質問がないようですので、次に、次第の 6 番目のその他について、委員の皆さまから何かありませんか。

(「なし」の声)

宮村委員長 事務局から、何かありませんか。

[その他について]

宮田所長 それでは、事務局から委員会後の給食試食について説明したいと思います。

本日の給食は、黒糖パン、牛乳ポトフ、ハンバーグ、ケチャップ、スパゲティサラダです。

ポトフに入っているウィンナーは函館のカールレイモンのものを使用しており、添加物は、入っていません。

また、キャベツは幕別産、玉ねぎは芽室産、きゅうりは木野産、人参は石狩産となっています。

マッシュルームは、鎌田きのこのもので、十勝産となっております。

ハンバーグは、乳、卵等が入っていない、アレルギーのお子さんでも食べられるように考えて提供しています。

ここにケチャップがありますが、北海道産トマト 100%のものを使っています。

皆さんにお返ししますので、ご覧になってください。カレー粉も見本に持ってきましたが、これもハンバーグと同じように、アレルギーのお子さんでも食べられる原材料を使用したものとなっております。

宮村委員長 他に何かありませんか。

森委員 給食だよりの内容については、一言メモなどの工夫がされていて、子どもたちに関心を持たれるような内容となっており、以前から比べると数段よくなっていると思います。

また、給食だよりの献立のネーミングも工夫されていて、家庭でも話題になるのではないのでしょうか。

しかし、その反面、漢字が多く字が小さいため、学校の教室の壁に張ると、子どもたちが読みづらそうですので、掲示用にふりがな付きや文字を大きくするなど、小学1年生にでも読めるように掲示用の献立表の様なものを作成していただけると、子どもたちの話題が広がると思います。

宮田所長 ご意見ありがとうございます。給食だよりにについては、日数の関連や載せなければならぬ情報も多いことから、このようになっています。

何が出来るかも含めて、検討したいと思います。

宮村委員長 他に何かありませんか。

(「なし」の声)

宮村委員長 以上をもちまして本日の会議を閉じさせていただきます。

本日は、お疲れさまでした。